

鹿島建設株式会社

本 社：東京都港区元赤坂1-3-1
代 表 者：代表取締役社長 中村 満義
業 種：総合建設業
従業員数：8,817人



代表取締役社長
中村 満義

経営トップによる決意表明

鹿島は、このたび「仕事と生活の調和推進モデル事業」に取り組むことになりました。

当社の主要事業領域である建設事業では、単品請負生産であるために生産拠点である建設現場が有期事業として点在し、自然環境にも大きく制約を受けるとともに、予期せざる事象にその都度的確に対応しながら品質や安全・納期を守ることが求められます。このため、特に建設現場において長時間労働になりやすいという問題点を抱えています。

また、近年では高度化する発注者のニーズにきめ細かく応える必要が増しており、現場のみならず設計・技術支援・営業等の全ての業務プロセスにおいて、これまで以上に総合的な連携が不可欠となってきていることから、各部門においても業務は質・量ともに増大する傾向にあります。

当社では、従来から社員の働き方の問題に着目し、時間外労働の削減並びに夏季・年末年始等の長期休暇取得推進等に取り組む一方で、両立支援推進の観点から、社員の家庭事情等に合わせた働き方が可能となるように、育児・介護を支援する各種制度を整備・拡充するなどの対応を行って参りました。

今回、「仕事と生活の調和推進モデル事業」に参画するにあたり、目指すべき方向について会社全体で意識を共有したいと考えております。

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進を通じて目指すものは、仕事と生活の双方で生きがいや喜びを感じることによって「健康で豊かな生活を実現すること」です。

そこで、当社では「一人ひとりが持つ時間は有限であり、自己の付加価値向上・自己実現を仕事との調和によって達成し、健康で豊かな生活を実現することで生きがいや喜びをさらに大きくすること、それが企業にとっても持続的発展の礎となること」を共に認識した上で、次の視点をもって臨んでいくこととします。

- ① 仕事の中に自分があるのではない、自分の中に仕事がある
- ② “仕事”と“生活”(On - Off)の切替えを大切に
- ③ 現場の数だけ職場がある、それぞれの職場で身近にできることから

今年度、我が社は以下について重点的に取り組みます！

- ・ ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進キャンペーンの実施
「それぞれの職場で身近にできることから」
 - ・ WLBの考え方・目的などの周知・啓発
 - ・ 職場ごとのWLB推進、個人のWLBの推進
- ・ 休暇取得推進への支援
 - ・ 現場異動時休暇の取得推進
 - ・ リフレッシュ休暇制度の拡充